

# KOIZUMI SPIRITS

1716年の創業以来、  
小泉産業グループは人々が求める  
モノや価値を、  
いち早くカタチにして贈り届けてきました。  
一貫させてきたのは、お客様を第一に考え、  
マーケットの動きを読み、  
未来を見つめる視点を忘れないことです。  
そしてそうした活動の根底では、  
商品、サービス、ソリューション、  
それらを「人から人へ。」届けることを  
大切に続けてきました。  
「コイズミスピリッツ」とも言うべき  
その精神がどのように生み出され、  
育まれてきたのか。  
当社の歩みとともにご紹介します。

# 人から人へ。

お客様を思う姿勢  
“粘り強さ”“積極性”  
“情熱”そして  
“アイデア”“センス”

約300年以上の歴史の中では、「戦争」「不況」「統制」「リーダーの急逝」「市場変化」など、さまざまな苦境を数多く経験してきた。それを乗り越えられた最大の要因は、社員の気質（情熱、粘り強さ、積極性、忍耐など）であり、その経験が、お客様に価値を提供する「アイデア」「センス」を生んできたといっても過言ではない。そしてそれらのスピリッツは、人を変え、カタチを変え現代にも息づき、お客様から信頼をいただく所以となっている。

## 進取の気性を表す 「\_\_違う発想がある」

従来の習わしにとらわれることなく、積極的に新しい物事へ取り組む気質や性格を指す「進取の気性」は、まさにブランドステートメント「\_\_違う発想がある」そのもの。過去の市場参入や商品・サービスの開発などでも、時代の一步先を行く「価値」を、お客様に提供し続けてきた。

## 仕事の心掛け 「三方よし」

SDGsの観点などから世の中で「三方よし」の精神が、改めて注目されている。その中で当社は創業以来、時代に適応させながら、この精神を継承し、お客様に価値として還元し続けている。また、「自分たちだけ、儲ければよいではない」という考え方が社員教育でも重視され、仕事に対する心掛けになっている。

## 特殊 特徴品 主義

「特殊特徴品主義」こそが、変化の激しい時代を乗り切り、将来を切り拓くための貴重な宝になるという考えを戦前から貫き継承している。これは現在のブランドステートメント「\_\_違う発想がある」に繋がっている。また、この考えの根本には「時代の流れとお客様のニーズをいち早く知る」がある。

## 「人格の育成向上」を ベースにした 商道徳と 社員教育

この言葉は、「近江商人」のよき伝統である「社員教育（当時は社員の子弟）」が継承されたもので、グループの社是でもある。「商道徳」と「社員教育」のベースに常に「人格の育成向上」を置き、現在も「コイズミアカデミー」など階層ごとの教育を熱心に実施している。

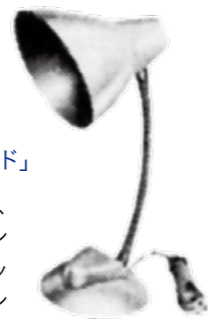


# 商品とサービスに磨きをかけ、 お客様と社会に貢献する

## 1947

コイズミ照明機器のルーツ「電気スタンド」

敗戦から2年目、家庭電化時代の到来を予測し、電気生活用品を開発。その一つが電気スタンド。以後、フレキシブルスタンドに始まり、カットスタンドや和風スタンド、そして蛍光灯スタンドへと進化する



## 1966

業界初の蛍光灯付き学習机「蛍雪」

高度経済成長で人々の生活にはゆとりが生まれ、モノへの投資のみならず、子どもへの投資・教育熱も高まった。そこに着目し、自社の照明技術を活かした、業界初の蛍光灯付き学習机を発売した



## 1967

料理ができる食卓  
クックテーブル「晚餐」

住宅の洋風化でダイニングテーブルの需要が伸びる中、「鍋料理で、ガスコンロの準備が手間」という主婦の声に着目。開発したガスコンロ付きのテーブルは、お客様ニーズにマッチし、大ヒット商品となった



業界初の試み  
「照明のショールーム」  
昭和40年代には照明を販売する取引先が急増。売り方がわかりづらい照明器具の「売り方提案の場」としてショールームを開設。商品を見るだけでなく、売場づくりや提案のノウハウも提供した



## 1976

光を知り尽くした  
プロフェッショナルチーム「LCR」

「空間は光が構成する」という考えのもと、早くから照明設計を専門に担う部門LCR (Lighting Creative Room) を設置。商業施設などの先進的な空間を対象に、数々の照明提案を行ってきた



## 1977

資源枯渇への対応と  
コストダウンを両立  
「ラバーウッド」の採用

ラバーウッド(ゴムの木)は、本来は廃材になるものだが、その硬さと手触り、そして成長の早さに着目。成長が早く、値段が安く、安定的に調達できる「一石三鳥」の素材として採用した



## 1973

照明設計のノウハウを提供  
「ライティングアカデミー」

照明には器具と、光が生み出す空間演出の両面がある。空間づくりに大きな影響を与える照明設計のノウハウを、プロの方々に伝えることで照明文化の発展をめざした



## 1988

時代を変えた省エネ照明  
「インバータ照明器具」

省エネのトレンドを背景に開発された高効率、静音、瞬時点灯などが特長のインバータ回路。専門メーカーでいち早く商品化に取り組んだ当社は、充実のラインアップでお客様の要望に応えた



## 1982

動くあかりのショールーム  
「ライティング・セポアール」

「現物を確かめてから決めたい」という要望に応えるため、トレーラーを改造したショールームを特注。「全国津々浦々までショールーム」という発想で、全国のお客様に向け移動展示を行った



## 1978

棚を外せば高校まで  
「6・3・3で12年」使える学習机

従来の学習机は、本体と棚の一体型が主流。上級生でも平机として長く使えるよう、棚の取り外しができる設計で開発した新しい学習机は「6・3・3で12年」のキャッチコピーとともに普及した



## 1987

コイズミ国際学生照明デザインコンペ

若き人材の育成とあかり文化の普及を目的に、世界の学生を対象とした、世界唯一の照明デザインコンペを創設。以来25回開催し、応募者は延べ42カ国、3万3千人にのぼった



## 1990

体感型ショールーム  
「コイズミライティングシアター イズム」

従来の「器具のコーディネート」中心の考え方は一線を画し、ショールームに“体感”の概念を導入。さまざまなシミュレーション装置を導入した設備は、業界に新たな風を吹き込んだ

学習机の新常識  
「インバータデスク」

照明業界で早くからインバータ器具の開発に取り組んできた当社は、業界に先駆けて、学習机の照明にも、目にやさしいインバータライトを導入。学習机の「新しいスタンダード」を確立した



## 1991

専門メーカーとしての技術ベースを確立  
「開発技術センター」

独自の照明技術の研究・開発をテーマに生まれた開発技術センター。商品開発に必要な基礎応用技術を研究する部門、デザインから商品化まで担う部門などを設け、技術ベースの確立に取り組んだ





# 商品とサービスに磨きをかけ、 お客様と社会に貢献する

## 1997

ホームページによる情報発信

普及率10%程度というインターネット黎明期に、業界でいち早くホームページを開設。お客様満足向上と透明性の高い経営をめざし、商品、リクルート、経営など、さまざまな情報発信を強化した



## 2001

ISO9001  
認証取得

## 2002

ISO14001  
認証取得

照明事業で

「ISO9001」「ISO14001」の認証取得

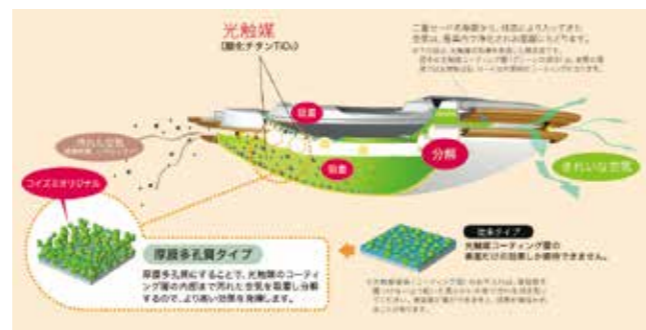
2001年に品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」、2002年に環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」の認証を取得。品質保証体制と環境経営機能の強化に取り組んだ



## 1999

空気を浄化するあかり  
「光触媒照明」

光触媒と紫外線の特長を組み合わせるといふ発想から生まれた、室内の空気を清浄に保つ機能がある照明器具。シックハウス症候群が社会問題化した当時、発売当初から注目を集めた



子ども用の学習家具に  
安心・安全を  
「健康デスク宣言」

子どもが使う学習家具こそ安心・安全であるべき。その考え方にともづき実施した「健康デスク宣言」。健康・安全・環境を考慮し、ホルムアルデヒドやダイオキシンなどへの対策を講じた



## 2006

学習机の新しいカタチ  
「ステップアップデスク」

「机+上棚」から「机+書棚」への発想転換で、机と書棚を「合体式」と「分離式」のどちらでも使用可能にし、子どもの成長に合わせた自由な使い方を提案。この手法は、翌年の他社新商品でも多く採用された



## 2012

児童養護施設への  
「学習デスク寄贈活動」

児童養護施設の子どもたちへ、自社の学習机を寄贈。ただ商品を送るだけでなく、社員が現場で子どもたちと一緒に組み立てる活動は、物心両面での支援として寄贈先からも喜ばれている



## 2013

LED照明提案型スタジオ「KLOS」

LED照明の最適化提案や最新技術紹介など、お客様との双方向コミュニケーションによる課題解決をめざす、これからのイノベーションの場として開設。室内の表情を変えながら施設全体で光のあり方を表現できる



## 2014



照明制御の国際規格  
「DALI」対応商品の発売

快適な空間を実現する照明制御技術として、現在大型施設やオフィスで普及が進むDALI。コイズミ照明は、他社に先駆けてDALI対応商品の開発に着手し発売した



## 2018

照明制御システム「TRee」開発

住宅のIoT化に対応し、家中の照明をコントロールできる「TRee」システムを開発。スマートスピーカーとも連携し、話しかけるだけで、設定したシーンに変更したり調光・調色のコントロールができる



照明をつけて!

はい、わかりました。



あかり文化創造拠点「コイズミ照明 R&Dセンター」竣工

「あかりの杜」をコンセプトとした、LEDに特化した研究・開発施設兼実践型ショールーム。最新の照明設備をそなえ、環境や働き方などにも配慮した革新的オフィスは、お客様からも高い評価をいただいている

## 2020

照明専門メーカー初の試み  
「BIMデータ」の提供

設計、施工から管理まで、建築の新たなシステムとして、大型プロジェクトで導入が進むBIM (Building Information Modeling)。設計者や施工者の生産性向上に貢献するため、照明専門メーカー初のデータ提供を開始した

